



## 電話用 NTP リファレンスの設定

電話機 Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) リファレンスを設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「電話用 NTP リファレンスの設定値」(P.5-1)
- 「電話用 NTP リファレンスの検索」(P.5-2)
- 「電話用 NTP リファレンスの設定」(P.5-3)
- 「電話用 NTP リファレンスの削除」(P.5-4)
- 「関連項目」(P.5-5)

### 電話用 NTP リファレンスの設定値

必要な場合には、電話機の NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定すると、SIP を実行している電話機が日付と時刻を NTP サーバから取得するようになります。どの NTP サーバも応答しない場合、SIP を実行している電話機は、日付と時刻の REGISTER メッセージに対する 200 OK 応答の日付ヘッダーを使用します。

電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページに追加したら、そのリファレンスを日時グループに追加する必要があります。日時グループでは、電話機でアクセスする最初のサーバから順に、電話用 NTP リファレン스에優先順位を設定することができます。

日時グループの設定はデバイス プール内で指定し、デバイス プールは電話機ページで指定します。

表 5-1 では、電話用 NTP リファレンスの設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.5-5) を参照してください。

表 5-1 電話用 NTP リファレンスの設定値

フィールド	説明
[IP アドレス (IP Address)]	SIP を実行している電話機が日時の取得に使用する NTP サーバの IP アドレスを入力します。  (注) Cisco Unified Communications Manager は、電話用 NTP リファレンスとして設定できません。
[説明 (Description)]	電話用 NTP リファレンスの説明を入力します。Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは [IP アドレス (IP Address)] フィールドにある情報が [説明 (Description)] フィールドに自動的に入力されます。必要に応じて、この情報を変更することができます。

表 5-1 電話用 NTP リファレンスの設定値 (続き)

フィールド	説明
[モード (Mode)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、電話用 NTP リファレンスのモードを選択します。選択できる値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ダイレクトブロードキャスト (Directed Broadcast)] : このデフォルト NTP モードを選択すると、電話機は任意の NTP サーバから日時情報を取得しますが、リストされている NTP サーバ (1st = プライマリ、2nd = セカンダリ) を優先的に使用します。たとえば、電話機の設定で A がプライマリ NTP サーバ、B がセカンダリ (バックアップ) NTP サーバになっている場合、電話機は NTP サーバ A からのブロードキャスト パケットを使用 (日時を取得) します。NTP サーバ A がブロードキャストを実行していない場合は、NTP サーバ B からの日時情報にアクセスします。どちらの NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合は、他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified Communications Manager 200 OK 応答から日時を取得します。</li> <li>[ユニキャスト (Unicast)] : このモードを選択した場合、電話機は特定の NTP サーバに NTP クエリー パケットを送信します。応答を受信できない場合、電話機は他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバも応答しない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified Communications Manager 200 OK 応答から日時を取得します。</li> </ul> <p>(注) Cisco Unified Communications Manager は、現時点ではマルチキャスト モードおよびユニキャスト モードをサポートしていません。これらのモードを選択した場合、Cisco Unified Communications Manager ではデフォルトのダイレクトブロードキャスト モードに設定されます。</p>

## 電話用 NTP リファレンスの検索

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、複数の電話用 NTP リファレンスを設定することができます。このため、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは個々の電話用 NTP リファレンスを検索できるようになっています。Cisco Unified Communications Manager の管理ページに存在する電話用 NTP リファレンスを検索する手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、検索/リストの設定がクライアント マシンの cookie に保存されません。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco Unified Communications Manager の検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [システム (System)] > [電話用 NTP (Phone NTP Reference)] の順に選択します。

[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**(注)** 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



**(注)** リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.5-5) を参照してください。

## 電話用 NTP リファレンスの設定

電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する手順、およびデータベース内の電話用 NTP リファレンスを更新する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** [システム (System)] > [電話用 NTP (Phone NTP Reference)] の順に選択します。

[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。

- 電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、「ステップ 3」に進みます。
- 既存の電話用 NTP リファレンスを更新するには、既存の電話用 NTP リファレンスを見つけて（「電話用 NTP リファレンスの検索」(P.5-2) を参照）、「ステップ 3」に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します（表 5-1 を参照）。

**ステップ 4** 設定をデータベースに保存するには、ウィンドウ左上のツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。または、ウィンドウの一番下に表示されている [保存 (Save)] ボタンをクリックします。

### 次の作業

新しい電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加したら、そのリファレンスを日時グループに割り当てます。詳細については、「日時グループの設定」(P.6-5) を参照してください。

### 追加情報

「関連項目」(P.5-5) を参照してください。

## 電話用 NTP リファレンスの削除

Cisco Unified Communications Manager データベースから電話用 NTP リファレンスを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページから削除するには、そのリファレンスを事前に日時グループから削除する必要があります。電話用 NTP リファレンスを使用している日時グループを検索するには、[電話用 NTP の設定 (Phone NTP Reference Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスにある [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。電話用 NTP リファレンスを使用している日時グループがわかっている場合は、該当する電話用 NTP リファレンスをそのグループから削除します。

依存関係レコードがシステムで使用可能でない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示され、依存関係レコードを使用可能にするための操作が示されます。このメッセージには、依存関係レコード機能によって CPU に高い負荷がかかることも表示されます。依存関係レコードの詳細については、「依存関係レコードへのアクセス」(P.A-2) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** 「電話用 NTP リファレンスの検索」(P.5-2) の手順を使用して、電話用 NTP リファレンスを検索します。
- ステップ 2** 複数の電話用 NTP リファレンスを削除するには、[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、対象となる電話用 NTP リファレンスの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンまたは [選択項目の削除 (Delete Selected)] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** 電話用 NTP リファレンスを 1 つだけ削除するには、次の作業のいずれかを実行します。

- [電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、対象となる電話用 NTP リファレンスの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンまたは [選択項目の削除 (Delete Selected)] ボタンをクリックします。
- [電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、電話用 NTP リファレンスの [IP アドレス (IP Address)] リンクをクリックします。その電話用 NTP リファレンスの [電話用 NTP の設定 (Phone NTP Reference Configuration)] ウィンドウが表示されたら、[削除 (Delete)] アイコンまたは [削除 (Delete)] ボタンをクリックします。

**ステップ 4** 削除操作を確認するように求められたら、[OK] をクリックして削除します。削除操作を取り消す場合は、[キャンセル (Cancel)] をクリックしてください。

#### 追加情報

「関連項目」(P.5-5) を参照してください。

## 関連項目

- 「電話用 NTP リファレンスの設定値」(P.5-1)
- 「電話用 NTP リファレンスの設定」(P.5-1)
- 「電話用 NTP リファレンスの検索」(P.5-2)
- 「電話用 NTP リファレンスの設定」(P.5-3)
- 「電話用 NTP リファレンスの削除」(P.5-4)
- 「日時グループの検索」(P.6-3)
- 「日時グループの設定」(P.6-5)
- 「日時グループの削除」(P.6-7)

